

高校生の現実

貧困を放置して

道徳教育？

貧困が社会問題としてマスコミでもしばしば取り上げられるようになりました。貧困は派遣切りの労働者など、一部の市民の問題ではありません。次世代を担う若者、高校生にも格差は広がっています。偏差値の高い高校ほど生徒の家庭が裕福で、「教育困難校」ではひとり親の家庭、特に母子家庭が多いことを多くの教員は体験的に感じています。高校増設がほぼ終わった1985年にはひとつもなかった偏差値39以下の高校が、

2005年には17校に増えているのです。逆に偏差値55以上の高校は26校から20校に減っているという事実は、高校教育の階層化と貧困化が進んでいることを意味します。

2005年には17校に増えているのです。逆に偏差値55以上の高校は26校から20校に減っているという事実は、高校教育の階層化と貧困化が進んでいることを意味します。



高校生で現れる格差

「絵本の読み聞かせをしよう」「時事ニュースが家庭で話題になる」「家族で旅行に行く」などの体験は、学力や学習意欲の源です。しかし、教育困難校といわれる学校の生徒はこのような体験をあまりしていません。ひとり親、非正規・長時間労働などの事情を抱え、経済的余裕がない世帯が多いからです。もちろんこれらは親の責任でも子の責任でもあります。本人の能力以前に家庭の貧困が学力の低下につながっていると言えるでしょう。

高校の偏差値と家庭の経済力との調査によれば、その相関関係は客観的なデータとして明らかになります。

授業料減免率が示す家庭の経済力

県立高校の授業料は年間11万8,800円。母子家庭で減免をうけるとすれば、その年収はおよそ210万円です。第3学区19校の偏差値と授業料減免率のグラフ（下図）では、偏差値が下がれば下がるほど減免率は高くなり、逆に偏差値が上位の学校ほど低くなっていきます。偏差値の最も高い高校での減免率は1.1%しかありませんが、偏

差値の最も低い高校の減免率は32.0%もあります。家庭の経済力と受験学力との関係を明確に読み取ることができます。

中退者は減っているって本当？

ある年度の入学者が3年後にその高校をどれだけ卒業したか（卒業率）を調べると、偏差値の高い高校ほど転退学率が低く、偏差値の低い学校ほど転退学率が高いというデータがあります。教育困難校では、入学時40人クラスが卒業時には30人に減っているという深刻な状況です。卒業率をグラフにすると、授業料減

●授業料無償化でも低所得世帯は負担が増える！

本年5月1日に施行された高校無償化法により、県立高の授業料（9,900円/月）は無償となりました。しかし、教科書などの教材費や制服代、修学旅行積立金などあわせるとかなりの額になります。これまで授業料減免に準じてPTA会費などを減免されていた低所得世帯では、その優遇が打ち切られ、逆に負担が増加する場合もできます。学校や自治体での適切な対応が求められます。

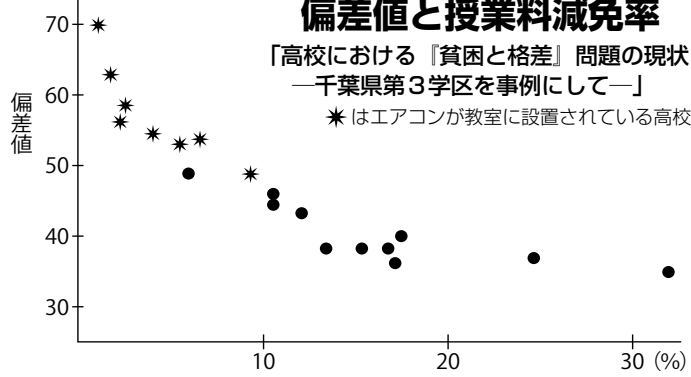
免率のグラフとまったく同じ形になります。家庭の貧困の度合いと高校を続けることの困難さとが連動していることが、これらのデータから浮き彫りになります。

一方、千葉県教育委員会はこの8年間に中退者は減っているというデータを出しています。ただし、そのデータには転学者が含まれていません。様々な事情で通い続けることができず、定時制や通信サポート校に転学する生徒は増えています。しかし、県教育委員会はこれを中退者とカウントしていません。現状をただしく認識しなければ、その対応策をとることはできません。教育

偏差値と授業料減免率

「高校における『貧困と格差』問題の現状
—千葉県第3学区を事例にして—」

＊はエアコンが教室に設置されている高校



2～3面特集
身近な
化学物質の危険！

委員会の姿勢には大きな問題があります。

道徳教育より教育環境の整備を！

本来平等であるべき公立高校でのこうした不平等の現実を認識することから、教育問題を考えていかなければなりません。森田県政が重視する「元氣」「道徳」より、教育環境の整備こそ真っ先に取り組むべきだと考えます。

貧困問題の特徴は「見えない」とだとはいわれますが、厚生労働省発表では、国民7人に1人が貧困、ひとり親家庭の54%が貧困というところまで事態は進んでいます。これ以上高校生の格差が広がらないよう、早急に対策を打つべきです。

●エアコン導入は格差の象徴

県立高校の教室のエアコンは保護者が費用を負担し設置されています。そのため、偏差値とエアコン設置状況にもはっきり相関関係が見られます。進学校では涼しい場所で勉強がはかどり、困難校では暑さで集中できず、ますます学力の格差が広がります。親の格差が子どもの格差につながるという象徴的なものと言えます。

2010.7
政治を変えるのは
net
ネットです
No.65

市民ネットワーク千葉県

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-10-11 アイビル6F
TEL 043 (201) 1051 FAX 043 (223) 6651
URL <http://www.ken-net.gr.jp>

化学物質の危険!!

これが農薬散布の使用実態

●子どもへの影響が心配

農薬による健康被害が注目され、国からは「住宅地等における農薬使用について」の通知が出されています。通知では、公園や街路樹では定期的散布を中止すること、物理的防除を優先し、誘殺・塗布・樹液注入など散布以外の方法を検討することとされています。さらに、有機リン農薬の混合散布の禁止、散布時の周辺住民への事前周知などが求められています。現状は十分ではありません。県議・大野博美は「有害化学物質から子どもの健康を守る千葉県ネットワーク」の皆さんに委託し、県内各市町村の使用状況調査を行いました。

●公園・街路樹・小中学校でも

公園・街路樹には、パラコートや有機塩素系殺菌剤TPNなど危険性の高い農薬が使用されていたり、保育園・幼稚園では、事前調査せず毎年同じ量を散布したり、有機リン系殺虫剤や除草剤（グルホシネート）を散布しているケースが見られ、事前周知がないなどの問題がありました。

ます。

しかし、害虫の生育状況調査や近隣への散布の周知は徹底されていません。

●街路樹の農薬散布ゼロの自治体も

浜松市では、04年「農薬汚染を監視する会」が市の防虫害対策の情報公開を求めたことがきっかけで街路樹への農薬散布が廃止されました。市民からの通報や要望で現地確認し、病虫害の発見・駆除を行う「街路樹巡視・機動業務」をすることによってそれを可能にしています。費用はかかりますが、市民の健康や農作物への影響を優先させた施策で、大変評価できるものです。

産廃処理施設から吐き出される有毒ガス

野田市南部にある柏廃材処理センター。産廃の焼却と破碎を行っているが、07年の操業開始直後、有害物質の塩化水素が基準値の10倍を超

県は稼働停止と改善の勧告をだしましたが、業者はこれを無視し、稼働を再開、現在も操業を続けています。

千葉市「農薬指針」導入へ

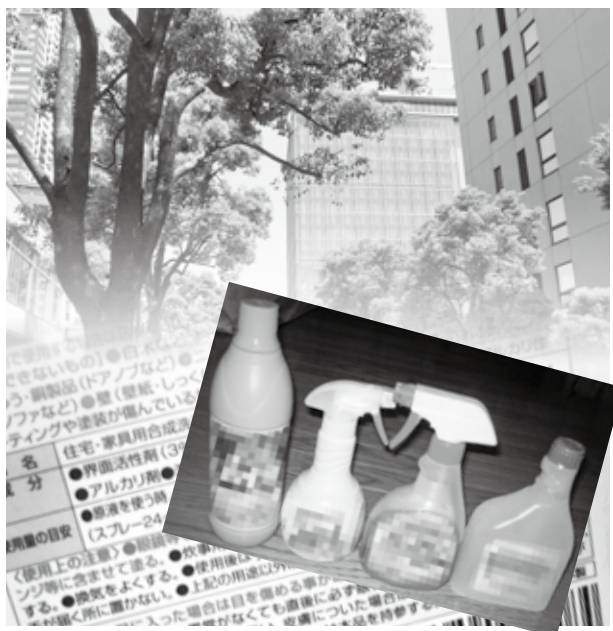
●化学物質過敏症の患者さんの訴えから

08年5月、化学物質過敏症の患者さんから「マンション敷地内の植栽への農薬散布で困っている」との相談が、みはまネット事務所へ寄せられました。これを機に、千葉市へ「農薬指針」策定を求める動きが始まりました。

国の「住宅地等における農薬使用について」の通知を受け、公共施設において農薬に頼らない管理を行う指針を策定している自治体も増えています。

●公共施設での大量の薬剤使用が判明

ちばネットが「農薬指針」について検討をはじめた頃、「反農薬東京グループ」という



市民団体が、千葉市に対し、学校、保育所、公園をはじめとするすべての公共施設における農薬の使用状況の調査を求めています。その結果、大量の薬剤の散布が行われていることが明らかとなりました。

います。しかし千葉市では、農薬に関係する、環境規制課、健康企画課、保健所、学校施設課、公園管理課、農政センター等いずれも「農薬は適正使用すればよい」との判断で、「住宅地通知」の言う「できる限り農薬は使用しない」という主旨が周知されているとはいえない状況でした。

●農薬指針策定だけでは安心するわけにはいかない

環境規制課は「これまで住宅地通知を意識してこなかったのは事実」と認め、早速に「住宅地などでの農薬散布について」というパンフレットを作成しHPで公開、また関係課による庁内会議を設置し、住宅地通知に基づく「千葉市の施設等における農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用に係る指針」を昨年9月に策定しました。



しかしこれで農薬問題が解決したわけではありません。今後とも、指針に沿って、安易な農薬使用が行われていないかの監視が必要です。また指針では例外となった「シロアリ防除」や「花の美術館」等の農薬使用について改善を求めていく必要があります。

住民の健康被害調査を実施しました。それにより、実に42%の人が異常を訴えていることがわかりました。今は症状がなくても、体内に蓄積された有害化学物質による子どもたちの成長・生殖機能への影響が心配されます。すでに

値の3倍もの測定値が出ました。これに押され、県もわずか1日だけのVOC測定を行いました。低数値しか出ません。

本来県が持つ産廃施設への立ち入り調査権ですが、協定を結び市にその権限を委譲することが可能です。昨年12月からのだネットは市が立ち

「化学物質過敏症」

身近な

フッ素は百害あって一利なし！

●フッ素推進条例が成立

今年の2月県議会で自民党から提出された「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」が、賛成多数で可決成立しました。反対は市民ネットの会派のみ。

反対の理由は、この条例にはむし歯予防という名のもとに「フッ素洗口」が明記され、施行されれば、保育園・幼稚園・小中学校で集団実施されるからです。

●フッ素洗口はなぜ危険か

「フッ素洗口」とは、フッ化ナトリウムを水で薄めたものを子どもたちの口に含ませ、1分ほどブクブクうがいさせることです。しかし、フッ化ナトリウムは外国では「キブリ退治薬や殺鼠剤として使われる劇物であり、微量と言えど長期間にわたって口の粘膜から吸収されれば、子どもたちの体に良いわけがありません。幼い子どもは飲み込む危険性もあります。

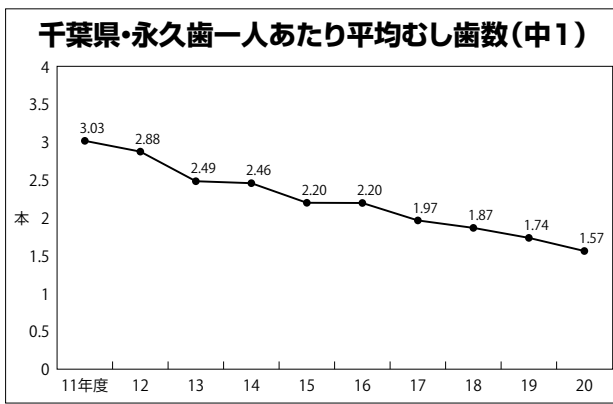
フッ素の健康被害として、歯が変

た。
小中学校では、埼玉県などで禁止され発がん性も疑われるパラジクロロベンゼン（室内空気濃度に規制値あり）が使われています。さらに、給食施設では殺虫成分が揮発する薬剤や、残留が心配な薫煙タイプも使用されています。また、スミチオンなど有機リン系の殺虫剤も使われています。家庭や屋外スポーツ施設についても同様に農薬が使用されている事故が発生。周辺住民は喉が焼けつき息もできない状況となり、樹木が枯れ、飼犬が痙攣をおこす事態となりました。住民からの訴えで

色しギザギザになる斑状歯（はんじょうし）が有名ですが、発がん性骨硬化症、アレルギー、染色体異常なども指摘されています。

●子どものむし歯は減っているのに

WHO（世界保健機関）は94年に「6歳未満のフッ素洗口は禁忌」と結論付けました。ところが日本では、歯科医師会と親しい厚生省の幹部が中心となり、フッ素洗口を推進する



柏廃材処理センター

●周辺住民に健康被害続出
昨年夏から再び頻繁に白煙がたちこめたり、胸をしめつけるような異臭が漂い、体の異変を訴える住民が急増しました。その症状は、喉の痛み、頭痛、目の充血、鼻の異常などさまざまで、96年に東京都杉並区で起きた「杉並病」と似ていると専門家は指摘しています。杉並病はプラスチックの破碎処理施設が引き起こした大気汚染が原因とされており、柏廃材の場合も、化学物質が燃やされる過程で有害ガスが発生していると推測されます。のだネットが議会で厳しく追及したため、ようやく市は昨年9月、半径500メートルの

と診断された住民も出ています。
●あまりに遅い県と市の対応
これほどまで被害が出ているのに、野田市と千葉県の対応は後手後手に回っています。アンケートの結果で半数近い人が健康被害を感じているのに、市は知事宛に「調査指導のお願い」をただただでました。住民から異常の通報があっても、パトロー

入り調査権を得て原因究明をすすめるべきと主張していますが、市が重い腰をあげ、協定の申し出をするのに半年近くかかる有様です。県の許可ができるのはさらにそこから1ヶ月余。こんなことで市民の健康を守ることができのでしょうか。
●煙を止めるしかない！
6月2日には施設内から火災が発生しました。再度、市民は県に稼働停止を求めましたが、6月10日現在稼働停止にはいたっていません。まずは柏廃材の操業をストップさせ、周辺住民の健康被害を食い止めることが先決です



アートの可能性を考えて

美術家 こまちだ たまお

市民の時間
civil time

Vol.23

私は98年から上総一ノ宮でたまあーと創作工房、こども教室・美術教室を主宰し、美術を通じての教育活動と自身の絵画作品の制作傍ら行っております。老若男女問わず、知的・身体・精神等の障碍者、認知症などの方々に社会に躰きを感じた方ともアートと共に過ごす参りました。

アートにはこれといった答えはありません。誰でも心が込め命を注いで作品を生みだすことが出来、誰もが作品を通じて共感しあえるものでもあります。また、アートには人の心を安定させる役割がある



ります。見ることも描くことによっても描くことによってもです。今スタッフと共に取り組んでいることのひとつが児童養護施設一宮学園のボランティアアートワークです。親から虐待を受け共同生活をしている子供たちが多い施設です。昨年5月から9回ほど進めました。施設には予算が無くボランティアです。材料代もままならず、たまあーとの生徒さんから不要の画材を頂いてが主な糧の制作です。虐待を受けたり、親から離れて暮らしている子供たちの悲しみはどれだけのものでしょうか。私共の活動で良い反応が出るのかもわかりません。いや、ほとんど反応がないと思います。たった2、3回、2、3時間出会ったちよつと風変わりな大人との関わりでは何も生まれない確率の方が多い

アートの場を必要としているところはまだまだあります。よりアートの社会での役割 可能性を広げるために更に活動して参りたいと思います。

5/23 投開票の野田市議会議員選挙結果

投票率 46.99% (当日投票率 40.34%)

2期目 岡田さわこ 新人 小室みえこ

1,393票 当選 1,166票 当選

手創りの市民自治を進めていきます

第22回参議院議員選挙 推薦者

6月24日 公示 7月11日 投開票

千葉選挙区

道 あゆみ 民主党

小西ひろゆき 民主党

全国比例区

保坂のぶと 社民党

福島みずほ 社民党

原 和美 社民党

円 よりこ 民主党

選挙区は、個人名を書いて投票

比例区は、政党名、個人名どちらかを書いて投票

2011年統一地方選政策・候補予定者発表&講演会

2010年10月3日(日) 13:00開始(予定)

京葉銀行文化プラザ(元ぱるるプラザ)

講演会「どんとこい、貧困(仮題)」

お 話: 湯浅 誠 (NPO法人自立生活サポートセンター
もやい事務局長)

●市民れんらく帳●

●もうひとつの医療・からだの声を聞いていますか? 第3回「いのちと気」

講師: 赤嶺禮恭さん(気功整体師)

日時: 7月8日(木) 14:00~16:00

場所: サンプラザ市原8F コミュニティルームA
(市原市五井中央西1-1-25)

※参加費無料、申し込み不要

主催・問い合わせ: いちはら市民ネットワーク TEL: 0436-21-1907

●保育付き相談会「育ちにくい子どもについて語りあいませんか。」

講師: 植田照美さん(療育アドバイザー)

日時: 7月11日(日) 13:30~16:30

場所: サンハート(三和保健福祉センター/市原市海士有木225-4)

保育: 要予約

参加費: 無料

主催・申し込み: いちはら市民ネットワーク TEL 0436-21-1907

●一緒に学ぼう「雑学いちかわ」No. 5「市川市の介護について」

講師: 福祉課職員

日時: 7月17日(土) 13:30~15:30

場所: アイ・リンクルーム2(市川駅南口)

資料代: 300円

共 催: 市民ネットワーク・市川、市川に女性市議をふやそうネットワーク

●「原爆の絵」展

日時: 7月31日(土) 12:00~18:00

8月1日(日) 9:00~16:00

会場: 船橋市勤労市民センターギャラリー

主催: 市民ネットワーク・ふなばし

●NHK「坂の上の雲」のどこが問題なのか?

講師: 醍醐 聡さん(元東京大学大学院経済学教授)

日時: 8月21日(土) 14:00~16:00

会場: 市民ネットワーク千葉県4階会議室

資料代: 500円

主催: 市民ネットワーク千葉県(担当/平和部会)

お問い合わせ 市民ネットワーク千葉県 TEL 043-201-1051

びっくり 県政だより

—— 千葉県議会議員(佐倉市選出) 大野ひろみ ——



千葉県は、その旗振り役を担わされて

千葉県の教育の羅針盤ともいえる「教育振興基本計画」が、3月末に成立した。大きな特色として、「国を愛する心を育てる」「誇りを持たせる」「武道」「規範意識」「親学」など、戦前回帰的な方針が盛り込まれている。中でも「親学」は森田知事肝いりのプログラム。天皇中心の戦争ができる国づくりを謳う団体「日本会議」が、現在全国への普及活動に取り組んでおり、千葉県はその旗振り役を担わされて

おや!? 親学

いると言えよう。

一見、とつてもまとも?

実は、親学は学問でも何でもなく、「親学推進協会」という一民間団体が提唱する「子育て術」。子守唄を聞かせ母乳で育児、授乳中にテレビをつけない、早寝早起き朝ごはんの励行、PTAに父親も参加、親子でテレビではなく演劇などの芸術を鑑賞、幼児期にいさつなど基本の徳目を習得させる...など、誰もがケチのつけようがない提言が並んでいる。極めつけは「親が変われば子どもも変わる」というキャッチコピー。これにぐらつかない親はないだろう。しかし親学を一度むけば、男尊女卑の家族像が現れる。

一番風呂はお父さん

親学推進協会編「続・親学のす

すめ」には父親の權威を保つ方法として、こんな記述が大真面目に出てくる。

一番風呂はお父さん、父親の食事には子どもや母親が食べられない立派な一品を追加、たとえ母親のほづが収入が多くても父親が経済的に家族を支えていると教え込む。

そして、離婚女性へのアドバイスは、「離婚した夫の写真を額に入れて飾り、毎日『お父さん、行ってきます』『お父さん、ただいま』と子どもに挨拶させましょう。子どもが小さい時には、離婚したと言わず、死んでしまったと言ってもよいと思います」

千葉県の道徳教育では、「ウソをついてもよい」と教えることになるのだろうか?

報告 緊急学習会「どうする!? 普天間基地」

普天間基地移設問題で「少なくとも県外移設」と言っていた鳩山首相が約束を反故。自民党時代の「辺野古」案に戻ってしまい、沖縄県民の激しい怒りと国民全体の大きな失望をかい民主党の支持率も奈落の底へ。その最中の5月24日に開かれた県ネット主催の緊急学習会「どうする!? 普天間基地」は、100人もの参加を得ました。



保坂のぶとさん

講師は沖縄の平和運動家真喜志好一さんと、前衆議院議員の保坂のぶとさん。

「実は辺野古に軍港を作る話は1960年代からあった。普天間基地の機能を移すというのは口実で、新たな基地を辺野古に作るというのが真実」と真喜志さんは、証拠文献を示しながら衝撃的な発言。

保坂さんは、「日本国内の米軍基地の74%が沖縄にある。相変わらず沖縄だけに負担を押し付けることは、差別以外の何物でもない。戦地への殴りこみ部隊である海兵隊が抑止力にはならないことは今や常識だ。政権交代した今こそ日米安保を問いなおすべき」と熱く語りました。

「沖縄を切り捨てることは許されない」と政権を離脱した社民党から参議院選挙全国区に挑戦する保坂さんには、ぜひとも勝利してほしいものです。



真喜志好一さん

お知らせ

市民ネットワーク・かしわ市議代理人小林敏枝(3期目)は、3月31日付けで離脱しました。本人からは説明もなく突然の退会届でした。今後の対応については、現在協議を進めています。